

営 農 情 報

令和2年6月30日発行

第20号

大豆の害虫防除について

本年、大豆圃場において害虫による食害が多く圃場で散見されます。圃場観察を行い被害が確認された場合には防除を実施し、害虫から大豆を守りましょう。

○有効な殺虫剤

薬 剤 名	使用倍率	散布液量 (L/10a)	使用時期	使用回数	備 考
エルサン乳剤	1,000倍	100～300	収穫7日前まで	2回以内	
トクチオン乳剤	1,000倍	100～300	収穫30日前まで	3回以内	
トレボン乳剤	1,000倍	100～300	収穫14日前まで	2回以内	
プレバソフロアブル5	4,000倍	100～300	収穫7日前まで	2回以内	マメシンクイガ 基幹防除使用薬剤

※「プレバソフロアブル5」については「ダイズマメシンクイガ」の基幹防除として2回使用予定の場合は他薬剤にて防除を実施しましょう。

小麦「赤カビ病」防除について

現在、秋まき小麦においては「赤カビ病」基幹防除の3回目が多くの圃場で終えている状況です。しかし、収穫までには約3週間程度期間が空いてしまう事が想定されます。

また、長期的に天候が優れず、多湿状態が続くと「赤カビ病」の発生を助長させてしまう為、下記薬剤にて追加防除の実施を検討しましょう。

○赤カビ病に有効な薬剤

薬 剤 名	使用倍率	散布液量 (L/10a)	使用時期	使用回数
シルバキュアフロアブル	2,000倍	60～150	収穫7日前まで	2回以内
リベロ水和剤	2,000倍	60～150	収穫7日前まで	3回以内
チルト乳剤25	1,000～ 2,000倍	60～150	収穫3日前まで	3回以内
トップジンM水和剤	1,000～ 1,500倍	60～150	収穫14日前まで	3回以内

J A み ね の ぶ 営 農 販 売 課

TEL 0126-67-2334 FAX 0126-67-2803